

日時：令和3年10月21日（木）15時00分～16時45分

場所：鎌倉商工会議所3階 301会議室

出席者：佐々木部長（会長）、小日山次長（副会長）、河合（克）校長、河合（幸）校長、坂本教頭、井出教頭、堀江教諭、伏見教諭、事務局（中尾課長、池田補佐、花村係長）

1 **開会あいさつ（会長）**

お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。この協議会が有効に働き、学校の職場環境改善につながるような建設的な意見交換を行っていきたい。

2 **報告事項**

(1) 鎌倉市学校職場環境改善プランⅡ計画表及び進捗状況について

<事務局>

教育委員会では、教職員の職場環境改善を目的として、令和3年(2021年)3月に「学校職場環境改善プランⅡ」を策定し、令和3年度(2021年度)から令和5年度(2023年度)までの3年間を計画期間として取組を進めている。当該プランⅡの進行管理については、鎌倉市学校職場環境改善プラン進行管理要領に基づき、半期に1度、教育文化財部長に報告することとなっており、9月までの進捗状況を報告する。

(1) 業務改善に向けた取組

ア 校内業務の見直し については、校務支援システムでの出退勤管理及び長時間勤務者の把握を適切に行っている。各学校での取組の一助となるよう、今回協議内容に挙げている「(仮称)安全衛生通信」の発行を進めたい。

イ 部活動指導員の導入 については、9月17日にR3年度第1回部活動検討委員会が開催されガイドラインが守られ、時短につながっていることが確認されている。

ウ 校務支援システムの活用 については、通知表、指導要録、小学校保健関係帳票等の形式を調整中とのことで、今後の適切な運用が見込まれている。

エ ICTの導入 については、AIドリルの導入やクラウドサービス活用に向けての準備を進めている。

オ ICTスキル向上のための研修の実施 については、自己研修・情報提供のための「教育センターサイト」を開設し、様々な研修コンテンツの提供、全小中学校へのGIGAスクール校内研修会を進めている。

カ 就学援助の現物給付化 については、課題整理と制度設計について実施している。

キ 給食会計の公会計化 については、令和4年度からの実施に向け、制度設計及び関係者との協議、条例規則制定に向けた準備、給食費システム導入準備、パブリックコメント等を行った。

(2) 人的配置による支援の取組

ア 小中一貫教育推進のための会計年度任用職員の配置拡充

イ 様々な人的支援の継続・配置 については、予定通りの配置を行っている。

(3) プラン推進のための取組

ア プラン推進体制の整備 については、今回の報告をもって取組の進捗状況報告とする。

イ 安全衛生体制の推進 については、各学校からの衛生懇談会の実施報告の確認、5/28に第1回安全衛生協議会の実施、7/12に玉縄小学校への学校訪問相談を実施した。

ウ 地域、関係機関との協議 については、鎌倉版コミュニティスクール設置に向けた検討委員会を6月、8月に実施したほか、小坂小、玉縄中において、スクールコラボファンドを活用した課題解決型

学習を開始した。

エ 事務職員の学校運営への積極的な参画 については、事務職員の検討メンバーを決定し、11 月に検討会を開催することとしている。

(4) 快適に過ごせる環境整備に向けた取組

ア 学校施設の改築・長寿命化改修等 については、学校整備計画の検討、御成小学校及び西鎌倉小学校の老朽化対策工事、関谷小学校の特別支援学級教室改修工事を実施した。

年間を通じて予定通りの実施となるよう、今後とも進捗状況の適切な確認を行っていく。

<意見交換>

就学援助

・就学援助の現物給付化とはどういうものか

⇒就学援助制度対象世帯へ給食の現物給付を行うことにより、給食会計事務における対象世帯に関する収納及び喫食の確認や教育委員会への報告等の事務負担の軽減を図るものである。

校務支援システム

・校務支援システムは大変便利であるが、システムに慣れるためには時間が非常にかかることを認識してほしい。年度途中でもシステムの修正が可能であってほしい。

・システムに慣れるまでの修正が大変である。また、支援級についてはシステム対応が難しい。枚数が多くなってしまふ。指導要録についてもどうしていくか。困りごとについてタイムリーな修正が可能であるとよい。

・ヘルプデスクや指導課に依頼しているが、仕様なので断られる内容もある。

・学校ごとにやりかたもあると思うので、意見を集約した方がよい。いい形にするのは時間がかかる。

・当初は手間がかかるので、反対の意見も出てしまふ。

⇒導入期は時間がかかるが、慣れれば確実に手間は減る。中学校では、なくてはならないものとなっている。

・部活動指導員はどのような状況か。

⇒部活動にメスを入れないと、時間外業務が減少しないのは承知している。外部指導者の導入は大きな手だが、莫大な予算と人材の確保、教育の一環という側面もあるため、なかなか様々な面で難しさが出てくる。可能であれば負担軽減につながるが、トラブルの例も聞いており、なかなか難しい。

・指導員がつけば、土日の練習に顧問がつかなくてよくなるのか。

⇒そうはならない。気持ちの面では負担軽減されるかもしれないが、時間的な減少は難しい。

・特勤手当に莫大な金額をかけて教員に支給するなら、他人に任せるよりはの方がよいかもかもしれない。

・部活をやりたい教員も一定数いるので、部活動指導は教員の仕事ではない、という意識を持たせる必要があるかもしれない。外部指導者については、対外試合の引率をお願いするだけでも違うかもしれない。

・引率は保護者の責任、ということはいできないか。公立中学校は全部顧問が引率を引き受けてしまっている。

・部活指導は明らかに時間外勤務となるのに、それを教育の一環としてやっているのが問題ではないか。

・部活動指導員の導入については、0 か 100 かでなく、技術的な指導、引率を指導員に任せるというのも一つだと思う。部活を 100% 取るのではなく、部分的に取り除き、負担を軽くする方向もあるのではないか。改善していかないといけない部分であるので、そういう切り口で議論していただくのがよいと思う。

学校の Wi-Fi 環境について

・Wi-Fi 環境は、教室、校長室はよくなったが職員室は通信環境がよくない。継続的に環境をみてほしい。

⇒Wi-Fi 環境については、急遽行った経緯もあり、通信環境を担保していかないといけないと思うので、指導課に伝えて改善していければと思う。

人的資源について

- ・会計年度任用職員に管理職の仕事の一部を担っていただくことはできないか。
⇒それぞれの配置については、要綱で定まっている業務を行うこととなっている。
- ⇒県費の教育相談員は、管理職のサポートもできる。スクール・サポート・スタッフの時間増と、教育相談員の時間増については、要望している。
- ⇒教育相談員の方には、仕事を願うというよりは、いろいろ相談させていただいている。

小学校の教科担任制

- ・教科担任制については、どうなっているのか。
- ⇒県教育委員会からはまだ具体について知らされていない。
- ・学校で、時間外勤務が多いのは担任を持っている教員である。
- ・小学校で成功している教科担任制の取り組みがあれば、通信等に載せて紹介していくとよいと思う。
- ・中学校は、支援級にいろんな教科の先生に来てもらったりするが、小学校でそのようにしているところはないのか。

(2) 令和4年度鎌倉市学校職場環境改善プランⅡ計画表について

<事務局>

令和3年度の計画から引き続いての実施となる部分が多いが、

(1) 業務改善に向けた取組のうち、学務課給食担当による

カ 就学援助の現物給付化 及び

キ 給食会計の公会計化 については、実施される見通しとなっている。また、

(3) プランの推進のための取組のうち、

ウ 地域・関係機関との協働 については、鎌倉版コミュニティスクールの運営について、1中学校ブロックの各校に地域学校協働活動推進員の配置を予定している。

エ 事務職員の学校運営への積極的な参画 については、神奈川県による指針の有無に関わらず、事務職員の職務に関する要領(案)作成していきたいと考えている。

(3) 各学校の職場環境について(衛生懇談会実施内容から検討)

<事務局>

毎月、各学校で実施している衛生懇談会の報告の7月、9月分を一覧にまとめた。衛生懇談会は毎月1回実施し、実施後速やかに、「衛生懇談会実施報告書」を学務課教職員担当あてに提出することとなっている。また令和2年度、令和3年度の時間外勤務の状況を、45時間以上と80時間以上の人数でまとめたものを添付した。繁忙期にはどうしても時間外勤務が多くなってしまいが、作業の効率化の取組や業務の分担等で解決できる部分はないか。また、先日、湘南教職員組合との交渉の中で、持ち帰り業務について調査してほしいという要望があったが、そのような状況が恒常的に続いているようであれば、ぜひ各学校の衛生懇談会で話し合ってもらいたいと回答した。

衛生懇談会を、自分たちの職場環境や業務負担の改善のために話し合う場として活用していただきたいと思っている。

<意見交換>

- ・衛生懇談会は企画会で行っているが、業務が増える一方で、管理職に何とかするようにと言われている。
- ・分掌の見直しを行っているが、若手を育てていこうという認識を持ってやっている。
- ・職場環境改善は、管理職や教育委員会がやればよいという話ではなく、学校の中で試しながら改善してほしいと思っている。効果が出れば、通信等で紹介し、周知を図ったり、鎌倉市全体の取組として取り上げていけることもある。形骸化してしまうと、そこから一步も進めないの、試しにやってみるというのも一つである。あきらめ

ずに続けることで、効果が見えてくることもある。何もしなければ職場環境や健康障害も取り除けない。まず課題を取り上げて議論していただきたい。

- いつも残っているのは同じ先生だが、仕事が遅いわけではなく、本当に一生懸命やっている。教頭が働き方改革を一生懸命取り組んでおり、グループごとにテーマを決めて、話し合う機会を設けたが、衛生懇談会については、教職員の感想では、賛否両論があった。
- 本校は時間外勤務がトップクラスに多い学校であるが、大体同じ人が残っており、業務内容は、生徒へのノートに丁寧に返事を書き込んでいたりする。
- 9月の時間外勤務がどの学校も少ないのは、部活動が新型コロナウイルス対策で、できなかったことが挙げられる。やはり時間外勤務の要因は部活動であり、職員から、月曜日の部活動をなくそうという意見が出た。検討していきたい。
- 役所は、会議の時間は決まっているか。
⇒2時間までである。
- 中学校では、企画会議の担当の負担が大きい。小学校の企画会議は、それほど細かく決めない。
- 中学校の企画会議は細かいところまで決めているので、企画担当が機能していると言える。案を練っている。
- 資料の事前配付をすることで時間の短縮にはなる。事前に見ておくことで、アドバイスもできる。
- 会議資料を会議の中で読み上げるのは、時間ももったいない。事前に資料を提出するのは効果的だと思う。
- 事前に配付しても、読まない者もいる。会議の中で読み上げてよいと思う。
- 資料を作成するのに時間がかかる。資料の作成方法を工夫できればよい。
- 会議の担当者がしっかりした資料を作成することが大切
⇒役所の話を参考にすると、資料はペーパーレス、事前送付、議題を提示し、○分以内で決める、等のルールを作っている。会議自体は1～2時間で終わるようにしている。なかなかできていない部分もある。個人的には、児童生徒のために丁寧に書いている先生については、やらなくていいとは言えないが、際限なくやるべきかどうか、ある程度示していく必要がある。市でも、こだわりで長時間勤務になる職員もいる。ケースバイケース、トータルのバランスを見ながら管理職が管理しなければ、職員の健康被害につながってしまう。管理職によるマネジメントの必要性を認識していただきたい。
- 深沢中学校でオンライン授業を行ったという話を聞き、驚いた。新型コロナウイルスや自然災害により、そういう必要性があることを痛感した。学校の「当たり前」を見直していく時期に来ているかもしれない。運動会は1日行う必要があるか、週1回オンライン授業にしたら時間に余裕ができるのではないかと、先ほどの月曜日のノー部活動デーなど、当たり前を変えていくことが必要ではないか。「明日できることは今日するな」という意識も必要かもしれない。

3 **協議事項**

(1) (仮称)安全衛生通信の発行

<事務局>

教職員の職場環境改善に向けた意識高揚を図るため、(仮称)安全衛生通信を定期的に発行していこうと考えている。内容については、資料のとおりたたき台を作成した。記事の内容によっては著作権等の問題も発生する可能性があるため、内容の精査とともに、配付方法については検討が必要である。

時宜にあった内容を取り入れつつ、職場環境改善を自分事として捉えてもらえるような内容とするため、皆様のご意見を伺いたい。

<意見交換>

- 字体や内容の詰め込みすぎを見直した方がよい。

- ・タイミングのよい定期的な発行(年3回くらい)、各校の取り組み、時間外の取り組みを載せるのはいいと思う。コラムもあるといい。
- ・衛生懇談会の題材として使ってもらえるような内容がいい。
- ・ネーミングが、安全衛生という言葉が、教員にとって一般的ではないと思う。「働き方通信」や、サブタイトルをつけたり、などはどうか。
- ・教職員に通信に参加してもらえるといいと思う。
- ・google form のQRコードを掲載し、意見を募集してもよいのではないか。話題の提供にもつながると思う。

5 閉会

本日の協議内容や頂いた意見について、委員の皆さんに後日確認を行いたい。

第3回目は翌年1月を予定している。